



この度4月の熊本地震により、お亡くなりになられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々とそのご家族及び関係者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。そして、皆様の安全と一日も早い復興がなされますよう、社員一同心よりお祈り申し上げます。

ジャパン・レジリエンス・アワード2016

優良賞を受賞しました!

『Zero Energy Timber House』

ゼロ エネルギー ティンバー ハウス



ジャパン・レジリエンス・アワード
2016

「ジャパン・レジリエンス・アワード(強靱化大賞)」は、次世代に向けたレジリエンス社会を構築するために全国各地で展開されている“強靱化(レジリエンス)”に関する先進的な活動を発掘、評価し、表彰する制度です。

“強くしてしなやかな国づくり、地域づくり、人づくり、産業づくりに資する活動、技術開発、製品開発等”を実施している企業・団体がエントリー対象です。

楽園住宅は、企業・産業部門において、ZETH(Zero Energy Timber House)のような、昔ながらの工法で地域の材料と職人の技を活かした、省エネで高性能な家づくりに対する活動が認められ、この度優良賞を受賞することができました。

これも、いつもご協力頂いております皆様のおかげです。これからもこのような活動をしながら、お客様に安全、安心で満足して頂ける家づくりをし続けていきたいと思っております。

自然探訪

—最終回—

思い出してみればこの自然探訪も
早5年、延べ30回続けてまいりました

今まで
つたない文面、ありきたりなスナップ
これらを温かくご愛読頂き
ありがとうございました

そろそろネタも無くなり
マンネリ化してまいりましたので
別の企画に譲ることとなりました

長い間本当にありがとうございました
最後にあたり思い出のスナップを集めてみました



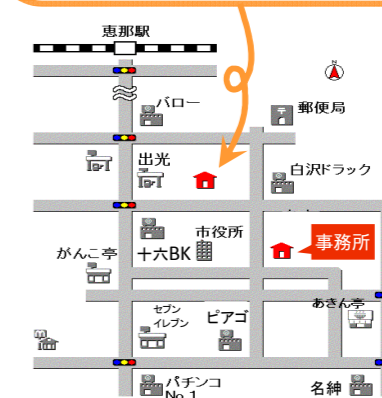
まだまだあったんですが、いろいろ思い出します
本当にお付き合いありがとうございました
またいつかお会いできるといいですね!

豆知識

住宅内で起きる事故死は意外に多く、特に65才以上の高齢者に関しては、年間の交通事故死より多いといえます。

例えば、階段等高所からの転落は重大事故につながります。事故を未然に防ぐための方法として、「傾斜を緩くする」、「直階段や廻り階段でも踊り場を付ける(転落を途中で止められるため)」、「手すりは連続にする」、「足元灯を付ける」等、設計段階で検討し、取り入れることが大切です。

ZETHモデルハウス



楽園住宅事務所・モデルハウス案内図

—ZETH(ゼツ)
モデルハウスのご案内—
ぎふ性能表示材・ぎふ証明材を使った、高断熱技術と伝統的な土塗壁のハイブリット住宅です。

【開館時間】
10:00~17:00
※臨時休館の場合もあります
土壁の心地よい空間を
ぜひご体感ください

ヒントは...
難しい字ですね。
一面に咲いた〇〇〇
キレイですね!

楽園クイズ

躑躅



楽園住宅 検索

答えは楽園住宅ホームページをご覧ください



金子一弘の世界見聞録 第30巻

ドイツの旅 その12

ローアドルフ Lebensraum Holz社 代表ピーター・ハルトマン氏

ドイツでは屋根・壁を工場でパネル化し、サッシや断熱材・気密シート(合板で代用する場合もある。ドイツの基準で透湿抵抗ST値3が、この地域では必要な性能。)・配管・配線用の鞘管等を取り付けた状態で現場へ搬入するのが一般的である。その為にパネルを組む天井クレーンが付いた建て屋と、躯体を加工するフンデガーのプレカット加工機が、セットで3億円程度の設備投資で中小工務店の工場は構成されている。また、施工範囲も数十km圏内で現場作業を最少にする工夫が各所で見受けられる。このパネルに各工務店の工夫が取り入れられて、差別化を図っている。このレーベンスラウムホルツ社では、パッシブハウスの性能と自然素材の採用・デザイン性を建物の特徴として差別化を行っている。

ハルトマン氏の考え方では、これまで順調に規模が拡大できてきたが、事業を大きくする事が目的ではなく、内容(技術力や財務内容etc)がしっかりとなくなった会社を目指していきたいとのこと。ドイツ人らしい考え方である。また、営業、設計部門とパネル製造、現場施工部門を別会社として、各部門の独立採算を図っている。

ドイツのPBモジュールは、2500mm×1250mmで625mmが日本の455mmに相当する。工場は2棟に分かれて躯体とパネル、造作材を加工する部門の3部門になっている。この施工部門で10名のスタッフがいて両社で20名が仕事をしている。



↑フンデガーのプレカット加工機で躯体を加工する工場↓



↑大断面集成材の梁が掛けられた作業場



↑パネル製作の台



↑施工中のパネル

この工場で作成可能なパネルのサイズは、12m×3.4mで重量が約2.0ton。窓を取り付けた場合は重量が重くなる為、パネルは短くなる。また、現在は断熱材と気密シート・PBは、パネルの重量が増す事と、運搬中に断熱材が沈み込む可能性が有る為、現場で施工している。工場に隣接するサイロは、大鋸屑や木片を貯蔵するサイロで、冬場のボイラーの燃料として使用している。住宅でも燃料は1年分を貯蔵できるタンクが設置されている。

工場の設備は、パネルを吊る天井クレーンとフンデガーのプレカット機、造作材を加工する木工機械で、その他は12mのパネルを組む為の作業台、屋根パネルにセルローズファイバーを吹き込むブローイングマシンが設置されていた。

ドイツでは、開口部のU値や断熱・気密・換気その他、熱橋計算(サーモというプログラム)が義務化されている。各部位の詳細や計算書をパッシブハウス研究所へ提出し、審査を受けて合格したものに認証書が発行される。



↑パッシブハウス認証



↑マイスター資格証明書



楽園住宅情報コーナー



高断熱高気密の家は寒い冬だけに効果があると勘違いされている方もおられるのでは?!



暦のうえでは5月5日は立夏。昨今、気温30度を越える毎日が当たり前になった夏が近づいて参りました。『高断熱高気密の家って夏は暑い?』と思われる方も少なくないのでは?!

夏の太陽に照り付けられた屋根や外壁は、表面温度が70~80度に上昇します。その外部の暑さから室内を守るのが、断熱材と隙間を作らない高気密の技術です。そして、窓から直射日光を入れないことも重要です! すだれやよしず、グリーンカーテン等を利用して、夏を涼しく過ごすことが可能です。特に夏の西日は大敵です。西側の窓は無しとするか、もしくは小さな窓にしておくことをおすすめします。家庭内での熱中症も多いと聞きますので、熱中症リスクも低減しますね。もちろん、リフォームでも高断熱住宅はできます!

お問合せ&ご相談は
お気軽に楽園住宅へ♪



「新住協の冬暖かく夏涼しい
断熱リフォーム物語」
をご希望の方は、楽園住宅までご連絡下さい!



世界基準 ★パッシブハウス完成★



C値(相当隙間面積)=0.1cm²/m²
Q値(熱損失係数)=0.899W/m²K
UA値(外皮平均熱貫流率)=0.21W/m²K

初めてのパッシブハウスの設計、施工をさせて頂きましたが、多くの皆様にご協力頂きましたおかげで、無事完成することができました。建物の詳細は、また「十人十色」のコーナーで紹介させて頂きたいと思っております。お楽しみに♪

「楽園だより」からのお知らせ

楽園だよりの発行から5年が経ちます。

これも一重に皆様方にご愛読頂いております賜物と感謝申し上げます。

次回発行の7月号は
早6年目を迎えることとなりました。

次月号からまたお届けする内容は
内容を一部新たにスタートさせていただきます。

引き続きご愛読のほど
よろしくお願い申し上げます!

